

有限会社吉田工作所

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>私たち吉田工作所は「モノづくり」の会社です。 「モノづくり」というと、とかく「人中心」という事になりがちです。 本当の意味での「人中心」ってなんでしょう。SDGsはその事を考える良い動機付けになっています。 私たちが本当に幸せであるためには、個人、家庭、会社、社会、そして地球環境が本来の素晴らしさ、美しさを発揮していることがどうしても必要なのではないのでしょうか。 人類が現在までの発展と引き換えに搾取し破壊してきたものはあまりにも多めで、回復は困難を極めます。 地球本来の美しさを取り戻すことはこの世代では不可能かもしれません。 でも、搾取と破壊にブレーキをかけることは出来ます。 そのために吉田工作所が出来ることは取るに足りません。 それでもSDGsに取り組むことで、本来の素晴らしい地球環境への感謝、そして反省を表したい。 吉田工作所では自社の取り組みを従業員全員で、2030年まで継続的に取り組んでいきます。 私たちが普段行っていることがSDGsの取り組みにつながりますように。</p>			
		目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済	8	<p>当社では、現在新規に自社ブランドを立ち上げるべく社内企画によりプロジェクトを進めています。 従来のBtoBに加えてBtoCも視野に入れて、新たな吉田工作所を目指していきます。</p>	2022年に社内プロジェクトを事業化する。
	社会	5	<p>愛知県ファミリー・フレンドリー企業の取得をしており、育児介護における両立支援の補助を行っています。 実際に育児休業の取得者などはまだおりませんが、男性・女性問わず育児休業を取れる環境づくりを行っております。</p>	2030年までに、育児介護の法定以上の制度を構築する。
環境	7	<p>当社では、自社での省エネの活動として以下を実施しています。 ①LED照明による、消費電力の軽減 ②使用しない電気の消灯 ③原材料や購入品をまとめて発注するように心掛けることによる輸送で消費する燃料の間接的な削減 ④設計部門でのテレワーク勤務実施による、燃料の使用削減 ⑤自社制服の夏服・冬服の利用による、クールビズ、ウォームビズの実施 ⑥社屋の構造に応じて空調管理をすることで、過度な温度設定を避けることによる使用エネルギーの最適化</p>	2030年までにテレワークの導入を従業員の20%を目指す。	